

左京「人づくり」フェスタ

ふれあいカーニバル版

発行：平成25年11月
左京区「人づくり」
ネットワーク実行委員会
TEL 251-0470



楽しさいっぱいの手作りポスター
〔原画：片岡 氏(左京区)〕

今年も、宝が池公園「子どもの楽園」で、左京区「人づくり」ネットワーク実行委員会・

（財）京都市都市緑化協会の皆さまのお力添えを得て、「左京子どもふれあいカーニバル」が、盛大に開催できました。

「子どもを共に育む京都市民憲章」の具体的な行動の一つでもあります。この取組は、今年で9回目を迎え、テーマは、「親子のふれあい・再発見」です。

絶好の行楽日和に恵まれ、例年以上の多くの子どもたちや保護者、地域の方々の参加で『親子のふれあい』が深められました。写真構成で様子を紹介します。



「左京区「人づくり」ネットワーク実行委員会のスタッフにエールを送る高城左京区長



開会のあいさつをする長岡世話役

紅葉が始まった宝が池「子どもの楽園」に、1500人ほどの方たちの笑顔があふれた一日になったように思います。昨年の反省も含め、本部の位置などを移動させたことにより、各コーナーの取組全体が見渡しやすくなり、イベントの統一性も一層図れたように思います。私が担当したペンシルバルーンも人気で、700程の風船がなくなるまで、子どもや親子連れの列が絶えることはないほどでした。

なかなか忙しく、汗を流した一日でしたが、それも、主催者側になるみんなの力があつたからこそです。その一員になれてよかったです。

また、何より場所の担当になる京都市都市緑化協会の方たちの細かい配慮にも、心から感謝です。（スタッフI・M）



フリークライミングに挑戦する子どもたち



「子どもを共に育む京都市民憲章」の啓発を兼ねてのペンシルバルーンアート



お茶席の接待（八瀬地域女性会）を受ける親子



「豆つかみ」（児童館学童連盟）に挑戦する子どもたち

バルーンアートの手伝いとFacebook用の写真を撮っていました。行楽で訪れた親子連れも多く、喜んでいる笑顔が会場のあちこちで見ることができました。

特に、大原女の衣装体験や八瀬のお茶席は、伝統文化を伝える意味でも大切な活動だと思いました。（スタッフM・N）

左京「人づくり」ネットワーク実行委員会との共催での開催も2回目。晴天に恵まれたことや、昨年度と催事の場所を変えるなどの工夫をしたことにより、盛況となりました。

参加人数だけでなく、子どもたちの笑顔、スタッフ一丸となってやり遂げたことが、テーマにもつながる、実施しての何よりの成果だと感じています。

今後も、左京区にある「子どもが主役の公園」として、「人づくり」ネットワークの皆さまともい形形で連携しながら、公園づくりをしていきたいと思えます。（京都市都市緑化協会スタッフT・T）